

2020年3月25日
追記 2020年6月30日

親会社及び主要株主である筆頭株主の異動のお知らせ

当社の親会社かつ筆頭株主である日本電気株式会社（以下 NEC、社長：新野 隆）は、2020年3月25日に、NECが保有する弊社の93.53%分の株式全てを京セラ株式会社（以下 京セラ、社長：谷本秀夫）に譲り渡す株式譲渡契約を締結しましたので、お知らせいたします。

当社は、株式譲渡が完了した後、本年6月1日より「京セラ昭和オプトロニクス株式会社」として、京セラグループにて事業を開始する予定です。

（2020年6月30日追記）

当社は、予定通り2020年6月1日に京セラグループにて事業を開始しました。なお、社名については、リリース時の予定から変更され、2020年9月30日までは現在の社名「昭和オプトロニクス株式会社」で事業を行い、2020年10月1日に新社名「京セラ SOC 株式会社」に変更する予定です。

■背景・目的

当社は、1954年の設立以来、超高精度レンズ研磨技術、高耐力・低損失の成膜技術、優れた安定性が特長のレーザ技術をコアとして、宇宙関連や、露光機等の半導体製造装置、DNA 解析装置等の医療機器といった高付加価値市場に向けた事業を積極的に展開しています。

一方、京セラは、1983年に開始した光学部品事業において、多品種材料を用いた小径から大径まで幅広いレンズの高い製造技術を有しており、車載用途やOA機器用途のレンズから、FA（ファクトリーオートメーション）機器や医療機器向けの光学ユニットに至るまで、多岐にわたる分野に向けて製品を展開しています。近年では、事業拡大に向けた取り組みを強化しており、2016年には、FA機器向けの大口径レンズや高精度レンズを手掛けるメスグリオ株式会社（当時）を子会社化し、さらに現在、今後の需要増に対応するための増産投資も積極的に進めています。

今回、当社が京セラの子会社となることにより、京セラは、レーザ関連などの新市場に参入し事業領域を広げることとなります。また、当社にとっても、両社の技術融合によるシナジー効果と京セラがワールドワイドに保有する販売網および生産拠点の有効活用を通じた一層の事業拡大を図ることができ、今後、当社は京セラグループの一員として、光学部品業界におけるトップメーカーを目指してまいります。

■京セラ株式会社の概要

会社名	京セラ株式会社
代表者	代表取締役社長 谷本 秀夫
設立	1959年4月1日
本社所在地	京都府京都市伏見区竹田鳥羽殿町6
資本金	115,703百万円（2019年3月期）
グループ従業員数	76,863名 (持分法適用子会社、持分法適用関連会社は除く。2019年3月31日現在)